

## 「秋田県立大学ウェブジャーナルB」第2号に向けて

秋田県立大学 小嶋郁夫

秋田県立大学は、「21世紀を担う次代の人材育成」と「開かれた大学として、秋田県の持続的発展に貢献」することを理念として、1999年に創立され、2016年4月から17年目を迎えている。この間、教育、研究、地域貢献の各分野でさまざまな活動に積極的に取り組み、多くの成果を挙げてきた。

本学では、地域貢献活動における成果をより広く発信することを目的として、2014年3月にウェブジャーナルAを発刊したが、本ウェブジャーナルBは、ウェブジャーナルAの姉妹誌として、本学における研究活動の成果を、**Short Report**（実験や調査によって得られた価値ある結果を簡潔に報告するもの）として、いち早く発信することを目的としている。

本学では、研究活動をより活性化するために、科学研究費等の競争的資金への応募を推奨する一方、「重点研究」、「創造的研究」、「研究シーズ活用・実用化事業」等の枠組みを作って、学内公募による、教員への研究支援活動を行ってきている。ウェブジャーナルBは、これらの学内資金の支援による研究の成果を早期に発信するために活用していくが、もちろんそれ以外の研究活動に関する**Short Report**としての投稿も認めている。

第2号である本号では、主として2014年度の学内資金による研究成果について、38本の**Short Report**が掲載されている。このような多数の投稿となった背景には、本学教員の研究への意識が年々高くなって来ていることが挙げられる。

ウェブジャーナルA、Bとも、本文は日本語を原則としているが、日本語圏以外の読者にも概要が分かるよう、すべての論文には英文タイトル、英文アブストラクトを付けている。

このウェブジャーナルBによって、今後本学における種々の研究活動結果がいち早く発信され、また教職員の研究活動が一層活性化することを期待したい。

平成27年9月